

2月 6日 金谷ハナさん100歳のお祝い

金谷ハナさん（共栄）が2月6日、満100歳を迎えられ、宮坂町長が内閣総理大臣からのお祝い状と記念品を贈呈しました。
金谷さんは大正8年2月6日に上野で出生。昭和16年に結婚し、2男5女を授かりました。
贈呈は、金谷さんが通うデイサービスセンターで行われ、息子の慶弘さん夫婦や同施設利用者らと長寿をお祝いしました。



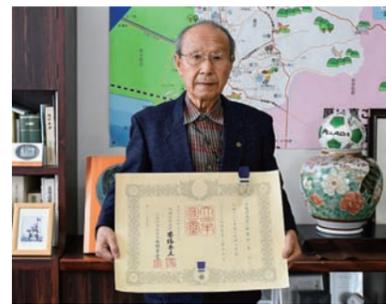
2月 13日 厚真消防団が 水防功労者国土交通大臣表彰を受賞

平成30年度水防功労者表彰式が東京都で行われ、胆振東部消防組合厚真消防団（五十嵐次男団長）が国土交通大臣表彰を受賞しました。
同消防団は、北海道胆振東部地震後の昨年9月と10月に発生した台風第24号、25号の接近に伴い、消防団員延べ53人が出動。避難勧告を発令した富里地区や幌内地区など151世帯340人を戸別訪問し、住民に避難を呼びかけ、町民の安全確保と被害の軽減に努めたことが評価されました。



2月 14日 加賀谷厚三さんが紺綬褒章を受章

加賀谷厚三さん（宇隆・84歳）が紺綬褒章を受章し、役場町長室で伝達式が行われました。
加賀谷さんは教育振興のために昨年10月に町へ多額の寄付をされました。紺綬褒章は、公益のため多額の私財を寄付した功績顕著な個人や団体に国から授与されるものです。



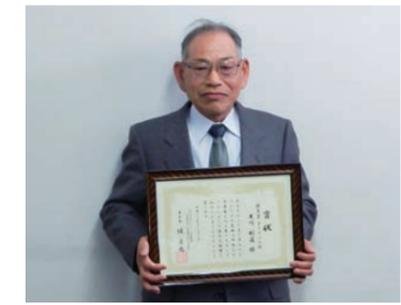
2月 24日 あつま新鮮組が創立30周年を記念し 巨大あつまくんモザイクアートを作成

町内の農協、商工会、漁協の青年部が組織する連絡協議会「あつま新鮮組」（上道恵会長）が、創立30周年を記念し、モザイクアートの制作イベント「巨大あつまくんモザイクアートチャレンジ」を厚真中央小学校で行いました。
イベントには町内の幼児や町外からのボランティアなど70人が参加。参加者は折り紙を町公式キャラクターのあつまくんに見立てた形に折り、3,000枚を縦4メートル横6メートルの模造紙に貼り付けました。
また、題字は北海道栄高校書道部で上厚真在住の大山みどりさん（3年）が音楽に合わせながら字を書く、書道パフォーマンスを披露し、会場から大きな拍手が送られました。
上道会長は「地震の影響で、一時は開催を悩みましたが、無事に終わることができてほっとしています。若い世代が楽しみながら交流できたと思います」と話していました。



1月 30日 黒川利道さんが 森と人を育てるコンクール優秀賞に

黒川利道さん（幌内・80歳）が「平成30年度森と人を育てるコンクール」森林所有者部門カラマツの部で優秀賞を受賞し、役場で賞状が伝達されました。
このコンクールは公益社団法人北海道森と緑の会などで構成する実行委員会が主催で、適切な森林整備を実施し、模範となる優良林分を育てている森林所有者などを毎年表彰するものです。
黒川さんは「昨年9月の北海道胆振東部地震で山林の一部が崩壊してしまいましたが、この賞を励みに地震で失われた緑を復活させたいです」と話していました。



1月 31日 さらに観光振興をめざし 町と観光協会がJAFと観光協定を締結

日本自動車連盟（JAF）札幌支部と町の観光協定締結式を安平町と合同で行いました。式は、安平町役場で行われ、JAF札幌支部の真野卓也事務所長や宮坂町長、町観光協会の池川徹会長らが協定書に署名し、握手を交わしました。
この協定は、ドライブ旅行の活性化による地域振興を図るもの。今後はこぶしの湯あつまなどの観光情報が、JAFの広報媒体を通じて発信されます。



右から小林あびら観光協会会長、及川安平町長、真野JAF札幌支部事務所長、宮坂町長、池川町観光協会会長

2月 2日 厚真の冬の2大イベント スターフェスタ・ランタン祭り

「スターフェスタ2019inあつま（商工会青年部主催）」と、「第19回ランタン祭り（同実行委員会主催）」が、こぶしの湯あつま周辺で行われ、町内外から大勢の人が訪れました。
開会式の冒頭では、昨年9月に発生した北海道胆振東部地震で犠牲になられた方々に黙とうをささげました。
会場周辺は地元の企業や団体、学校、個人の協力によって作製された約5,000個の氷のランタンが飾られ、温かで幻想的な灯りが会場を包み込みました。また、今年是小樽市の小樽雪あかりの路実行委員会から町災害ボランティアセンターに寄贈されたろう製の灯籠「ワックスボール」15個も灯りました。
イベントの終盤には、こぶしの湯から見渡せる雪原に今年の干支である「亥」の文字焼きが浮かび上がり、直後に約2,000発の花火が冬の夜空に打ち上げられると、会場は歓声が沸き起こりました。
来場者は優しい光に癒されながら、厚真の味覚やさまざまな催しを楽しんでいました。

